

ワクチン接種

高齢者の皆さまへ



歳を重ねるにつれ、病気から身体を守る大切な機能も衰えてきます。65歳以上の人は、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症などの病気にかかり、重症化するリスクが高いとされています。しかし、その予防方法はあります、ワクチンです！

ワクチンは、入院や死亡の原因となる、予防可能な病気から高齢者を守る、安全で効果的、かつ簡単な手段です。最大限の予防効果を得るために、ワクチン接種を常に最新の状態に保つことをお忘れなく。推奨されているワクチンは、あなたの年齢や病歴に基づいており、仕事や旅行で必要となることもあります。過去の接種歴が不明な場合や、これから受ける必要のあるワクチンがどれかわからない場合は、かかりつけ医にお問い合わせください。

どのワクチンを受ける必要がありますか？

65歳以上の方は以下のワクチン接種を受けてください：

- ◆ **インフルエンザワクチン:** インフルエンザにかかるリスクを減少させるために、特に秋頃にこのワクチンを毎年1回受けてください。65歳以上の方は、高用量インフルエンザワクチンについて医師にお尋ねください。
- ◆ **新型コロナワクチン:** このワクチンは、新たに発生する変異株に対応するために随時改良されます。改良型の新型コロナワクチンを少なくとも1回接種することが、生後6ヶ月以上のすべての人に推奨されています。65歳以上の方は、改良型の新型コロナワクチンを初回接種日から6ヶ月後に（最低2ヶ月の間隔をあけて）もう1回受けることが推奨されています。過去に接種を済ませた人は、改良型の新型コロナワクチンを受ける前に最低2カ月待つ必要があります。
- ◆ **肺炎球菌ワクチン:** 50歳以上の方は、このワクチンを受けてください。深刻な細菌感染症からあなたを守ってくれます。
- ◆ **帯状疱疹ワクチン:** この2回接種ワクチンは、高齢者の帯状疱疹を予防し、最大限の予防効果を得るために、2~6ヶ月間隔をあけて行われます。過去に水ぼうそうにかかったことがある場合でも、50歳以上の方に推奨されています。1回接種のZosterワクチンをすでに受けている場合は、医師にお問い合わせください。
- ◆ **Tdapワクチン:** このワクチンを1回打つことで破傷風・ジフテリア・百日咳を予防します。10年毎にブースター接種が必要になるかもしれません。
- ◆ **RSウイルスワクチン:** 75歳以上の人は、1回の接種でRSウイルス(respiratory syncytial virus)による重症化を予防することができます。免疫不全患者など、RSウイルス感染症の重症化リスクが高い60~74歳の成人には、接種を1回受けることが推奨されています。詳細については医師にお尋ねください。



ワクチン接種

高齢者の皆さまへ



ワクチンを受けるにはどうすればいいですか？

- ◆ 医療機関または薬局に行く。
- ◆ 追加のワクチン接種の必要性について医師に尋ねる。
- ◆ かかりつけ医がない場合は、publichealth.lacounty.gov/vaccines にアクセスし、低価格または無料でサービスを提供しているワクチンクリニックのリストやワクチンに関する詳細情報をご覧ください。
- ◆ メディケアは推奨されているほとんどのワクチン接種を自己負担なしでカバーします。保険でカバーされる詳しい内容は、メディケアまたはメディケア・アドバンテージ・プランの提供会社にお問い合わせください。詳細はこちらをご覧ください：
www.medicare.gov/health-drug-plans/health-plans
- ◆ ほとんどのワクチンは同時に接種することができます！



公衆衛生コールセンター

詳細は、公衆衛生コールセンターまでお問い合わせください。

1-833-540-0473（年中無休、受付は午前8時から午後8時まで）

